

～各学年旅行的行事が実施されます！～

16日～18日の期間に各学年旅行的行事が実施されます。実行委員を中心にこれまで一生懸命準備をしてきました。学校でもしおりの読み合わせや学年集会等で最終確認を行っております。子ども達が大きく成長する機会でもありますので、引率教員全員で子ども達の安全を第一に考えながら、充実した旅行になるよう支援をして行きたいと思っております。

ご家庭でも体調管理をしっかりとしていただき、思い出に残る素晴らしい行事になるようお声掛けください。

また、出発前に気になることや不安なことなどありましたら、ご連絡いただきますようお願い申し上げます。



～いじめ防止「学校・家庭・地域連携シート」を配付いたします！～

仙台市では、5月と11月を『いじめ防止「きずな」キャンペーン月間』とし、「いじめはしないさせないゆるさない」をスローガンに、いじめの未然防止に取り組んでいます。この取組の1つとして、いじめについて早期に気付き、学校・家庭・地域が連携していじめの早期発見、早期解決を図るために、いじめ防止「学校・家庭・地域連携シート」を保護者の皆様に配付しております。いじめ被害に早期に気付くためのチェックポイントや、相談窓口一覧も記載されておりますので、ご家庭でも目を通していただき、常に活用できるところに貼るなどして今後役に立てていただければ幸いです。

<いじめの被害に早期に気付くためのチェックポイント> *いじめ防止「学校・家庭・地域連携シート」より抜粋

【お子さんの態度やしぐさは気になりますか？】

- 朝、なかなか起きてこない。
- 家族との対話を避けるようになる。
- 部屋に閉じこもって、家族とも食事をしたがる。
- 感情の起伏が激しくなり、物や動物に八つ当たりする。
- 帰りが遅くなったり、理由を言わずに外出したりする。
- メールをこそこそ見たり、電話が鳴ると怯えたりする。



【学習面や学校生活の面で気になる点はありませんか？】

- 成績が下がっている。
- 学習時間が減ったり、宿題や課題をしなくなったりする。
- 勉強が手につかない。
- 学校の話をするようになり、学校の話をしようとすると、急に機嫌が悪くなる。
- 「学校を辞めたい」「転校したい」「部活を辞めたい」と言い出す。

【持ち物や金品について、何か気になる点はありませんか？】

- 家庭から品物やお金がなくなる。
- 使い道のはっきりしないお金を欲しがる。
- 買い与えたはずの学用品やゲームソフトなどが、頻繁になくなる。

【お子さんの服装や身体面、体調について気になる点はありませんか？】

- 衣服に汚れや破れがあったり、手足や顔等にすり傷や打撲の跡があったりする。
- 学校に行きたくないと言い出したり、通学時間になると、頭痛や腹痛等、身体の不調を訴えたりする。
- 食欲がなく、不眠を訴える。

【交友関係で気になる点はありませんか？】

- 学校や友達のことを話さなくなる。
- 急に友達が変わる。
- 親しい友達と遊ばなくなり、一人で自宅で過ごすようになる。
- 無言等の不審な電話、発信者の特定できない電子メールがある。

～命の大切さについて考える授業を実施しました～

5月10日（水）の2校時に、全学年で命の大切さについて考える授業を実施しました。授業では、仙台市教育委員会が発行している人権教育資料「みとめあう心」を用いて、命の大切さや、自分の良さ、仲間の良さを認め合う内容の授業を行いました。今回の授業で感じたことや考えたことを、今後の生活に生かしていくことを期待しています。以下は、授業後の感想ですをご覧ください。

みんな1人1人違うけど、1人1人良いところがあって、それを認め合いながら友達として仲良くしていきたいと思いました。また、自分の気付かないようなところを友達は見えてくれてとても嬉しかったし、私も友達の良いところをたくさん見つけていきたいと思った。【3年女子】



一つの命にはたくさんの人が関わっていて、自分の命だけ自分だけの命ではないのだと感じた。いじめは絶対にいけないことだし、相手の事を考えて行動することやその人に関わっている多くの人の心情を考えて行動できれば、命を絶つ人や悲しむ人が減っていくのではないかと今回の授業で感じた。命はとても重いものだけど、無くなるのも簡単だと思う。自分はこの1つしかない命を大切にしていきたいと思う。【2年女子】



生命の大切さや、自分と周りの人の良いところを見つけられた。どんなに辛くて、嫌なことがあっても、家族や先生、周りの大人に相談できる勇気を持つことが大切だと思った。また、困っている人がいたら積極的に声を掛ける優しさを持つことも大事だと思った。自分自身の良いところはなかなか見つけにくいけど、班の友達に自分の良いところをたくさん見つけてもらいとても嬉しく思った。【1年男子】

～原子力発電所事故等により避難している方へのいじめ防止についてのメッセージ～

東日本大震災により被災した児童生徒又は原子力発電所事故により避難している児童生徒へのいじめの防止について、文部科学大臣からのメッセージが届きましたのでご紹介します。

<児童生徒の皆さんへ>

東日本大震災により被災した児童生徒または原子力発電所事故により避難している児童生徒（以下「被災児童生徒」といいます。）の方へのいじめが起きています。震災や避難生活によりつらい思いをされている方を、さらに傷つける行為は、決してあってはならないと思います。

東日本大震災から6年がたちました。現在でも、震災により受けた被害や傷をかかえながら過ごされている方、ふるさとをはなれて避難生活を送られている方が多くいらっしゃいます。その方々は、つらい経験を乗り越え、未来に向かって、日々、一生懸命頑張っておられます。皆さんの周りにも、同じように頑張っている友達がいると思います。

いじめを防ぐためには、相手の立場になって思いやりをもって行動することが必要です。震災を経験して、ふるさとをはなれてなれない環境の中で生活を送る友達のことを理解し、その方によりそい、一緒に支え合いながら学校生活を送ってほしいと思います。また、放射線について科学的に理解することも大事なことです。そうすれば、皆さんが、こうした友達へのいじめをする側にも、見て見ぬふりをする側にもならず、いじめをなくすことができると思います。

このことは、被災児童生徒の方へのいじめに限るものではありません。すべてのいじめについても同じことが言えます。新学期を迎え、皆さんが、相手の立場になって思いやりをもって行動し、その結果、いじめが学校からなくなることを心から期待しています。